

ショパン年2010記念ピティナが リーフを受賞!

デーエヴァを始め、来日中のマルタ・ 際コンクール優勝者ユリアンナ・アブ 催された。2010年度ショパン国

アルゲリッチ、歴代のショパンコン

クール日本人入賞者・参加者、関係

〜ショパン生誕200周年の1年を振り返る

(取材・文: 菅野恵理子)

者各位が多く集まった。

各賞受賞者、ならび にショパン国際コン クール入賞者・参加 者などがステージに 集合し、アルゲリッ チ、アブデーエヴァら と記念撮影

ピティナを代表して、二宮裕子副会 長がレリーフを受け 取った

関わりを振り返ってみたい。

果たした関本昌平さんの指導者・二 年2010記念レリーフ」を授与さ 横山幸雄氏 (正会員)、小林愛実さ た。また、「ショパン・パスポート」が、 表して登壇し、レリーフを受け取っ 宮裕子先生(ピティナ副会長)が代 れた。2005年度第4位入賞を た実績を高く評価され、「ショパン ル入賞者・参加者を数多く輩出し ん(学生会員)などに授与された。 ここで、ピティナとショパンとの ピティナは、ショパン国際コンクー

幼少期からの ショパンとの関わり

された小林愛実さん(15)は、昨年 3月EMI ClassicsよりCDデビュー 今回ショパン・パスポートを授与 周年記念グランド・レセプション」

12月2日、「ショパン生誕200

が、ポーランド大使館主催により開

レセプションに出席された ピティナ理事の先生方

された小林愛実さん

多彩な音色、

微細な色彩感が引き

ンの音楽を掘り下げていくことで、 とペダルを習得させている。ショパ Op.10-12を用いて、多彩なタッチ



エヴァ・ポヴウォッカ先生、小山実稚恵さん、根津理恵子さん

多くの先生方がショパ ンコンクールを視察さ れた (石井なをみ先生・ 中西利果子先生) のスケルツォー番、バラードー番、 リーズ」Vol.17に出演し、 その音楽性に大きな注目が集まっ ショパン・ノクターン2番を演奏し、 は最年少8歳でJr.G級金賞を受賞。 エチュード等を熱演した。愛実さん

中村紘子先生、須藤梨菜さん、江口文子先生

年発売された「生徒を伸ばす!ピア ノレッスン大研究」では、20名のピ ショパンの音楽は年齢に関係な 人の心を捉えて離さない。 昨

先生(正会員)は小学校6年生の生 という方針である。また長谷川淳 名曲をレッスンに取り入れていく 楽は小さなモチーフの積み重ね。モ をレパートリーに取り入れる。「音 されているが、金子勝子先生(ピティ 小学校1年生でもショパンなどの チーフ単位で基本ができていれば、 ナ理事) は初級の段階からショパン ティナ指導者のレッスン風景が紹介

翌月「10代の演奏家シ ショパン 出されていく。

を果たし、

思わせる強い魅力がある。 弾いてみたい」。ショパンにはそう Op.68-3が選ばれた。「1日も早く 小中学生の希望を汲んで、ピティ も弾いてみたい!」という多くの はC級ロマン派課題曲に、マズルカ ド(新エチュード含む)がD級課題 ナ・ピアノコンペティションでは、 曲として採用された。さらに今年度 996年よりショパン・エチュー 「憧れのショパンをコンクールで

心と身体でとらえるショパン

源の一つは、幼い頃から聴いていた マズルカである。 ショパンのインスピレーションの



徒さんへのレッスンで、表現力を高

める曲としてショパン・エチュード

今年度の徹底研究の様子

レエ『ラ・シルフィード』のデモンス われた。プログラムの最後には、バ ズの奏法に関する講義と演奏が行 えして、マズルカ、ワルツ、ポロネー トレーションも披露された。 仁先生(ショパン協会会長)をお迎 『ショパンの舞曲』をテーマに、 小林 今年度のピティナ徹底研究では

伊賀あゆみ

さん

ションの一つであった。ショパンは 同時代のベッリーニやロッシーニの ルトのレクイエム演奏を望んだ。 恋した女性は声楽科の学生コンスタ 歌曲や歌劇をよく聴き、ベル・カン 人に願い、さらに葬儀にはモーツァ ンツィヤであり、亡くなる間際には トにも大いに影響を受けた。 初めて 「歌を聴きたい」とポトツカ伯爵夫 また、歌も重要なインスピレー

實川風さん

その初回を飾ったのが「ショパンと 取り上げる内容で好評を博したが 並公会堂)は、毎回2人の作曲家を ミュージック・ブランチ」(東京・杉 チーニの歌曲が演奏された トを意識して書かれた作品と、プッ プッチーニ」。 ショパンがベル・カン 2年目を迎えた「ピティナ・

> 2010年のラ・フォル・ジュルネ 入賞者などが多く出演

曲をコントラバスで、 をマリンバで、別れの

のだと、改めて思う。 くる。ショパンの音楽は耳だけでは なく、身体全体でとらえる音楽な せることなく、私たちの心に響いて 品の数々は、200年経っても色褪 の豊かな音楽環境から生まれた作

新しいショパンの姿

の解釈や演奏も生まれた。ピティナ が進むと同時に、「新しいショパン」 近くのショパン関連公演が行われた そうだが、ショパンの普及・大衆化 2010年は全世界で4000

ズムがあり、優雅な歌があった。そ

ショパンの周りには常に多彩なリ

風に、革命エチュード を弦楽四重奏やオペラ 露された。ノクターン や様々なアレンジも披 ほか、他楽器との共演 正統派のピアノ演奏の リアコンサートでは、 ルネ・オ・ジャポン」エ した「ラ・フォル・ジュ

ず、どんなジャンルのアーティスト らではだ。 をも刺激する芸術性は、ショパンな ヴァイオリンで。ピアニストに限ら バラードをトイピアノで、ワルツを

として定着した。また、軽妙でユー 5千PVに上るなど、人気コーナー ン」の2通り発表。映像閲覧が最大 しいバージョン」と「ジャズバージョ ティナ・ホームページで音源を公開 がコラボレートし、ショパンのジャ するという企画を行った。バラード ズ風アレンジ譜を誌上で発表し、ピ 4番、スケルツォ2番、ソナタ3 さらにピティナと月刊誌ショパン 別れの曲などの名曲を、「やさ

> ている。また10月に開催されたショ 年目に入り、すでに170回を超え 『ショパン物語』 (著・林 倫恵子) は8 モラスなタッチで人気の漫画連載 パン国際コンクールでは即日リポー トを行った(57万PV)。

受け継がれる ショパンの革新的精神

端が託された。 その最たる例だった。もし今ショパ 込まれた感情は、200年という 儚さ、気高さ…一つ一つの音に織り がれていく。ピティナにも、その 革新的精神は、これからも受け継 えて、ショパンの音楽が紡いできた 代を超え、国を超え、ジャンルを超 なく音楽に反映させるだろう。 変化している。音楽家やアーティス 時間を経ても人間が何一つ変わらな ンが生きていたら、時代の変化の兆 芸術に反映させてきた。ショパンは トは、その変化をいち早く察知し、 いことを実感させる。しかし時代は しを、そして変化の行方を、さり気 美しさ、激しさ、悲しさ、憤り、

誕200周年を迎える。 今年はショパンの盟友、 リスト生